発　行　№. ＳＹＫ００８
令和８年 11 月０１日
静岡県溶接工業協同組合

労働安全衛生　企業内教育資料

事務局

１．安全の心得

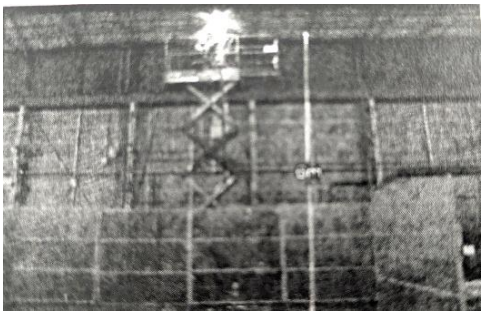
＊「溶接作業による災害防止」　溶接スパッタに要注意!!

２．災害事例

１）アークによる火花で火災発生

①発生状況；建屋天井の鉄枠を溶接修理するため、作業を行っていたが、火花が地上に落下、付近から少し離れた場所にあった発泡スチロールの上に火花が落ちたために後から燃えて火災となった。

②発生要因；溶接作業を行っている天井の真下に床面周囲の可燃性材料を除去(保護シートを覆う)せずに作業真下から３m程度離れていた発泡スチロールに火花の飛び、加熱した鉄粉で燃え火災となった。



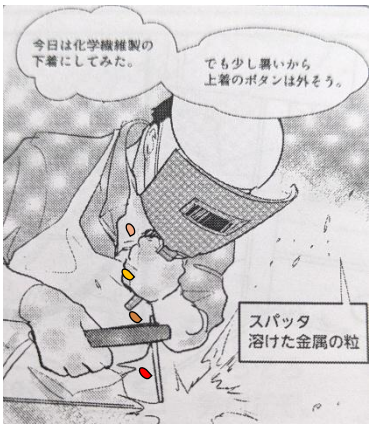
天井の溶接作業

③再発防止策；・養生範囲の見直しと見張り役の設置を行う。
・万が一に備え、消火器等の準備をする。
・溶接作業終了後、３０分程度現場を再確認する。

２）肌着が燃えて火傷する

①発生状況；溶接中にスパッタが飛んで、襟元から加熱した金属の粒が入り、化繊の肌着が溶けて火傷した。

②発生要因；夏場、暑くて作業着の襟元を開けて作業を実施、作業着の襟の隙間からスパッタが衣服の内部に入り化繊が溶けて火傷した。



溶接作業中の火傷

③再発防止策；・暑くても木綿性の下着を着る。
・作業着は、作業着の襟元を閉めて、隙間からスパッタが入らないようにする。
・溶接時、スパッタが自前の方向に極力飛ばない姿勢で作業を行う。

実施日；令和　　年　　月　　日

＊私は上記内容を確認致しましたので署名します。

教育受講者	氏　名
教育指導者	会社名　　役 職　　氏 名